

写真の縦横比が変わらないように設定して大きさを調整した正面顔画像です。内眼角の高さが一致するように、高さを調整したものです。

水平線を引いてみると鼻下縁及び外鼻腔の高さが一致していることがよくわかり、この20日間では、眼裂一鼻下縁間の距離に変化は認められませんでした。また、下の画像から人中(鼻下縁一上口唇上縁中央)の長さに変化は認められませんでした。



しかしながら、鼻下縁一上口唇上縁間の変化を見た場合、中央に変化は認められませんでしたが、 口角の左右差(9月7日の段階)が認められたために、左右差が改善するように施術したところ口唇 裂全体が挙上し、左右差も解消していました。しかも、青三角が示すように、これまで同様に下顎下 縁が挙上しています。

以上のように当院では、レーザー照射施術及び超音波照射施術によって表情のしわやシミだけでなく、形状の改善をスピーディに達成しているのです。



令和6年9月7日(土)施術前1



令和6年9月27日(金)施術前1